

但馬県民局地域創生戦略(令和2年度～令和6年度)

令和6年度アクション・プラン

I	目指す姿	p.1
II	取組の方向性	p.1
III	主要施策	
	令和6年度但馬県民局政策体系	p.3
	主要政策・事業の概要	p.5

但馬県民局

I 目指す姿

新型コロナウイルスの脅威が否応なしに日々の暮らしや社会のあり方に影響を与えている。このため、SDGs が掲げる誰一人取り残さない社会への変革を意識し、将来の夢や住民同士の対話、小・中・高校生の声をもとにして策定した地域ビジョンの以下の5つの地域像実現を目指す。

- ① 世界に誇る魅力を継承し、世界に輝く新たな魅力を創造する地域
- ② 垣根を越えた新たな人との交流・つながりを実現する地域
- ③ 多様性を認め合い、誰もが輝き夢の実現にチャレンジできる地域
- ④ 次代を担う若者や子どもたちがイキイキ育ち暮らす地域
- ⑤ 生活環境が充実した暮らしやすい地域

II 取組の方向性

地域像実現に向けては、豊かな環境や特色ある農畜水産物、日本遺産等の但馬固有の資源を活用し、「住みたい」・「訪ねたい」地域としての魅力をより高める必要がある。

男女共同参画社会づくりの促進など、全ての人が個人として尊重され能力を発揮できる環境づくりに取り組むとともに、芸術文化観光専門職大学の開学や豊岡演劇祭の開催、劇団「青年団」の但馬移転等により新たに芽生えた“芸術の力”を生かした地域の強みを最大限に発揮し、地域の方々が地域への誇り、自信、そして愛着を持てる地域づくりを進めることが肝要である。

1 【住んでみたい・住み続けたい但馬の創造】～緩やかに縮む人口対策～

(1) 環境創造・収益に繋がるブランド力強化 地域像①

脱炭素社会の実現など新たな課題に対しての環境創造と、コウノトリ育む農法をはじめとする農林水産資源のブランド力向上支援により、地域資源を収益の増加に繋げ、但馬の魅力度向上を目指す。

(2) 地場産業の育成・強化 地域像①②③

高度情報化への対応を促し、次世代を担う新規就労者を育成・確保することにより、地場産業の体力向上を目指す。

(3) 「但馬暮らし」の推進 地域像③④

但馬の魅力を情報発信するだけでなく、移住希望者に直接「但馬暮らし」を体験頂くことにより、魅力ある「但馬暮らし」を推進し、定住者の増加を図る。

2 【行ってみたい・活気に満ちた但馬の構築】～観光・交流の強化～

(1) 新たなツーリズムの戦略的推進 地域像②

コロナ禍により旅のスタイルが変化したことを受け、但馬の恵まれた自然を活かした各種プロモーションを実施することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。

(2) 地域資源の活用 地域像①②

山陰海岸ユネスコ世界ジオパークや日本遺産の認定を受けている鉱石の道など、地

域の中で育まれてきた地域資源を活用し、但馬への来訪者の増加、ひいては地域の活性化に繋げる。

(3) 地域外からのアクセス利便性の向上 地域像②⑤

鉄道利用の促進や高速道路ネットワーク整備の推進により、地域外からのアクセス利便性を向上させ、交流人口の増加を図る。

3 【誇りたい・ふるさと但馬の再発見】～シビックプライドの醸成～

(1) 魅力ある地域環境の再認識 地域像①

地域の方々に但馬の魅力ある自然環境を再認識して頂き、将来にわたる環境保全意識の醸成を図る。

(2) 暮らしの質を高める地域づくり 地域像③⑤

但馬の在住者や出身者の自主的な取組を支援することにより、住民が主体となった地域づくりを推進する。

(3) イメージアップ推進 地域像⑤

インフラ整備等や住民の防災意識の向上等、ハード・ソフト両面の基盤づくりを推進し、将来にわたって安心安全に住み続けられる地域を目指す。

【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

KPI	R3	R4	R5	R6
販売農家数に占める新規就農者の割合	6.3%	6.1%	4.8%以上	4.8%以上
人口減に占める社会減の割合	38.7%	27.5%	44.1%以下	44.1%以下
1人あたり観光GDP	6.90百万円	8.35百万円	11.25百万円/人以上	11.25百万円/人以上
観光客入込数の増加数	277千人	1,949千人	153千人以上	153千人以上
住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合	68.2%	52.4%	68.3%以上	68.3%以上
住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したい人の割合	43.2%	36.1%	46.7%以上	46.7%以上

令和6年度 但馬県民局政策体系

大阪・関西万博2025に向けた ひょうごフィールドパビリオンの展開

<R6全体予算額 134.5百万円>(対前年比92.6%)

(注) ※は本庁予算事業

- ◇ 地域内連携強化・情報発信（モデルコース作成・モニターツアー実施）
- ◇ 二次交通の充実支援（観光地と公共交通を結ぶ手段の確保）
- ◇ インバウンド誘客対策

但馬地域の雇用拡大・多様化の推進

- ◇ 人材確保・事業承継に向けた取組の推進
- ◇ 産業活性化の推進
- ◇ 農林水産業の担い手確保の推進
- ◇ 地域医療構想の実現と推進

【住んでみたい・住み続けたい但馬の創造】

～緩やかに縮む人口対策～

<R6予算額 53百万円>

環境創造・収益に 繋がるブランド強化

- 拡 1 コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開
 - ・ J Aと連携した販路拡大等によるブランド強化
 - 新 育む農法拡大に向けた低コスト水利施設の整備推進 等
- 新 2 新潟県との連携による情報発信と交流促進
- 3 スマート農業技術の確立・定着・拡大
- 拡 4 但馬牛の生産基盤強化対策の推進
 - 拡 但馬牛耕畜連携流通システムの確立
 - 拡 美方郡産但馬牛の世界農業遺産認定活用 等
- 5 但馬産農水産物のブランド力の向上
 - ・ 有機農業等の推進
 - ・ 但馬産水産物の振興 等
- 新 6 夜久野高原区域の地域活性化に向けた支援
- 7 野生鳥獣被害対策の推進
 - ・ 但馬全体で連携した広域捕獲の実施
 - ・ 広域的カワウ対策体制の構築 等

地場産業の育成・強化

- 拡 1 産業活性化の推進
 - 新 支援団体等との人材交流・連携強化
 - ・ 関係団体と連携した但馬企業の応援 等
- ※ 地域の商業・商店街の活性化
- ※ ものづくり産業・地場産業の支援
- 拡 2 但馬材素材生産強化・向上
 - 新 資源循環型林業を担う人材の確保・育成
 - 新 但馬型再造林モデルの実証 等
- 3 地域ぐるみの新規就農者の確保
- 4 新規参入者による但馬牛がいるむらづくり支援
- ※ 農業生産基盤整備・維持保全への支援
- 拡 5 沖合漁業船員の育成および定着促進
 - 新 就職説明会への出席

「但馬暮らし」の推進

- 1 但馬U・Iターン400人大作戦の展開
 - ・ たじま移住体験オーダーメイドツアーの実施
 - ・ 住まいの確保事業 等
- 拡 2 「但馬で働こう大作戦」の推進
 - ・ 高校生に向けての情報発信
 - 新 大学と連携した但馬企業説明会の開催 等

【行ってみたい・活気に満ちた但馬の構築】

～観光・交流の強化～

<R6予算額 48百万円>

新たなツーリズムの戦略的推進

- 拡 1 但馬の多彩な観光資源の再構築
 - ・ テーマ性をもったツーリズムの構築推進
 - ・ 但馬ツーリズム情報の積極的発信
 - ・ 二次交通の充実・利用促進に向けた支援
 - 新 インバウンド誘客対策 等
- 新 2 ひょうごフィールドパビリオン地域内連携の強化と情報発信
- 3 都市農村交流人口の拡大推進

地域資源の活用

- 拡 1 「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進
 - 新 効果的なプロモーションの推進
 - ・ 「鉱石の道」稼ぐ仕組みの創出 等
- 拡 2 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進
 - ・ 山陰海岸ジオパーク推進協議会への支援
 - 新 万博推進に向けた受入環境強化 等

地域外からのアクセス利便性の向上

- 1 但馬地域鉄道利用の促進
- 2※ 基幹道路ネットワークの整備
- ※ 主要観光地へのアクセス道路の整備推進
- ※ コウノトリ但馬空港の利用促進

【誇りたい・ふるさと但馬の再発見】

～シビックプライドの醸成～

<R6予算額 30百万円>

魅力ある地域環境の再認識

- 1 コウノトリも棲める郷づくりの推進
 - ・ コウノトリ野生復帰の環境整備
 - ・ コウノトリ野生復帰PR事業の推進
- 2 ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業
- 新 3 新潟県との連携による情報発信と交流促進(再掲)
- 4 清流の郷づくり大作戦の推進
- 新 5 豊岡復興建築群の魅力発信

暮らしの質を高める地域づくり

- 1 専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進
- 2 但馬での学生グループ地域づくり活動の支援
- 3 地域活動応援事業の推進
- 4 但馬地域ビジョン2050の推進
- 5 地域の見守り力アップ作戦
- ※ 若年者や高齢者等への消費者教育の実施
- ※ たじま消費者ホットラインの取組支援
- 6 但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援
- 新 7 「たじま福祉交流・連携エリア」事業検討
- 8 地域医療構想の実現と推進
- 新 9 社会的処方及び重層的支援体制の整備による地域共生社会の推進
- ※ 介護のイメージアップ促進

イメージアップ推進

- 1 地域ぐるみの新規就農者の確保(再掲)
- 2 クリーン但馬10万人大作戦の推進
- 3 安全安心で住みよい但馬の農村(むら)づくり
- ※ 災害に強い森づくり、農山村づくりの推進
- 4 地域防災力の充実・強化
- ※ 日本海津波対策の推進
- ※ 風水害対策の推進

但馬県民局の主要政策・事業

【住んでみたい・住み続けたい但馬の創造】

～緩やかに縮む人口対策～

環境創造・収益に繋がるブランド力強化

コウノトリ育む農法をはじめとする環境創造の取組を活かした、農林水産資源のブランド力向上を支援することで環境を収益に繋げるとともに「たからじま但馬」の魅力向上を目指す。

1 コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開

8,965千円

環境創造型農業を進め、多様化する消費者ニーズへの適応や付加価値・品質の向上、減農薬栽培から無農薬栽培へのシフトの支援、農作業の省力化を推進し、「育む農法」の取組拡大を図る。

- (1) 育む農法推進に係る課題解決のための技術実証
品質向上や省力化、新品種（多収穫品種）の無農薬栽培及び施肥体系確立等に向けた技術実証ほの設置
- (2) 育む農法取組拡大に向けた生産条件整備（コウノトリ育む農法拡大条件整備事業）
取組を拡大する生産者・団体等への栽培経費支援
- (3) 育む農法の更なる認知度向上や販路拡大等によるブランド強化
ア JAたじまが実施するPR活動への支援
イ 有機JAS等第三者認証の取得支援
- (4) コウノトリ育む田んぼ塾の開催
栽培技術レベルの高い農業者（育む農法アドバイザー）による栽培初心者等への指導により円滑な技術習得を推進
- (5) ⑧育む農法拡大に向けた低コスト水利施設導入
冬期湛水の用水を確保するため、ポンプを利用しない自然の水位差を利用した低コスト水利施設の導入促進と適地調査を実施

2 **新** 新潟県との連携（コウノトリとトキの野生復帰・環境創造型農業の推進）による情報発信と交流促進 1, 000千円

コウノトリの野生復帰や環境創造型農業（コウノトリ育む農法）に取り組む豊岡市と、同様の取組を展開する佐渡市との連携・交流を促進し、成果を広く国内外に情報発信することで、但馬地域への来訪者の増加を図る。

- (1) 小学生対面学習等の支援
- (2) 農業者間技術交流の促進
- (3) PRパンフレット等の作成

3 **スマート農業技術の確立・定着・拡大** 1, 500千円

但馬地域では、新規就農者の確保、集落営農組織の法人化等が進みつつある一方、農業従事者の高齢化が進み、担い手の確保が困難となっている。限られた労働力での生産性向上や効率化、作業の平準化等を図るため、先端技術を積極的に活用したスマート農業技術の確立・定着・拡大を図る。

- (1) ほ場条件や作物に対応したスマート農業技術確立・定着・拡大
技術確立実証ほの設置
経営実験大規模実証ほ設置
- (2) 地球温暖化に対応した栽培管理技術の確立
環境データ調査試験ほ設置

4 **但馬牛の生産基盤強化対策の推進** 5, 485千円

農業後継者・新規参入就農者の確保に向け、飼養環境、労働環境等の改善を支援するとともに、耕種農家と畜産農家の連携による堆肥需給調整を推進する。また、美方郡産但馬牛システムの世界農業遺産認定を受け、観光産業と連携した地域の活性化を推進する。

- (1) 農業遺産但馬牛システムの継承者の確保に向けた受入体制整備
- (2) ㊦但馬牛耕畜連携流通システムの確立（堆肥の広域流通）
モデル地区における飼料作物と堆肥の流通体制の構築
ア ㊦堆肥を活用した自給飼料（WCS、飼料用稲等）の実証ほを設置
イ ㊦稲わらを畜産農家に供給するシステムの構築
- (3) 美方郡産但馬牛の世界農業遺産認定活用
ア 世界農業遺産認定を受け、推進協議会運営への支援
イ 観光産業等との連携体制の構築
イ 情報発信の強化（但馬牛イベントの支援、但馬牛アンバサダーの育成）
イ ㊦但馬牛の小規模畜舎及び放牧風景の提供

5 但馬産農水産物のブランド力の向上

10,294千円

但馬地域には、高品質で独自性があり、商標権を持った有望な特産農水産物が多数存在している。ブランド力の向上による販売価格向上、生産コスト低減を進め儲かる農水産業の実現を図る。

(1) 他産地との差別化に向けたPR

商標、地域団体商標等を活用し、他産地との差別化、知名度向上に向けたPR活動の実施及び生産者団体等が行うPR活動を支援

ア 販売店でのPR、地元での特設販売等（なしおとめ、えだまめ（ひかり姫等））

イ 展示会等への出展、販促活動への補助（美方大納言小豆、朝倉さんしょ）

(2) 生産安定・多収化・コスト低減に向けた技術開発と普及

品目ごとの課題に対応した実証試験による栽培技術の確立と普及の促進

（たじまピーマン、なしおとめ、朝倉さんしょ、岩津ねぎ、えだまめ（ひかり姫等））

(3) 作付拡大への支援

ア 新規栽培等への経費補助（たじまピーマン、朝倉さんしょ）

イ 技術習得への支援（なしおとめ、朝倉さんしょ）

ウ 優良種子確保対策への経費補助（美方大納言小豆）

(4) 有機農業等の推進

野菜や果樹など多様な品目への堆肥利用の拡大に向けた実演会の実施

(5) 但馬産水産物の振興

ア 但馬産水産物や水産加工品の認知度向上と販路拡大に向けた活動を支援

イ いか釣り漁業の経営安定に向けた操業試験の実施

ウ 藻場保全に向けた重点的なムラサキウニの採取・駆除の実施

6 **新** 夜久野高原区域の地域活性化に向けた支援

400千円

朝来市北東部に広がる夜久野高原は、畑地の大区画化による農作業の効率化や農地集積による農業法人等の担い手の経営規模の拡大を進めており、「夜久野高原花畑」等に計画される活性化施設の整備や維持・管理、活用方法を検討することによって、持続可能な施設運営により関係人口の拡大とともに地域の農業収益力向上を図り、地域活性化を促進する。

7 野生鳥獣被害対策の推進

629千円

有害鳥獣捕獲や防護柵設置などの対策を推進しているが、農林業被害は依然深刻な状況である。捕獲体制を強化するため市町間連携による捕獲を進め、シカ生息密度の低減を図る。また、捕獲したシカを食肉利用する技術を高めることで、狩猟者の捕獲意欲向上を図る。

さらに、漁業被害の大きいカワウについて、広域的かつ計画的な対策を実施する。

(1) 但馬全体で連携した広域捕獲の実施

周辺の有害捕獲実績等を基に、広域捕獲エリアを設定し、捕獲班の編制、市町有害捕獲許可の調整を行い、広域捕獲を実施

(2) くくりわなの捕獲技術講習

わな猟初心者を対象に講習会を実施

(3) 広域的カワウ対策体制の構築

市町や内水面漁協が連携し、捕獲や調査を実施

(4) 食肉用シカ肉処理加工量増加対策

食用利用の促進のため、狩猟者を対象に血抜き講習会を実施

地場産業の育成・強化

次世代を担う新規就労者を育成・確保することにより、但馬の優れたものづくり産業や農林水産業の体力向上を目指す。

1 産業活性化の推進

893千円

但馬地域の支援団体間の人材交流を行い、地域特有の課題を共有、検討する場を提供することで、団体職員のスキルアップや企業の支援力向上を促進する。また、大学と連携した起業支援や顕彰事業を通じて但馬の産業体制の活性化を図る。

(1) ⑧支援団体等との人材交流・連携強化事業

商工会議所・商工会等の交流を創出し、但馬地域一体となった支援体制の強化

(2) 関係団体と連携した但馬企業の応援事業

ア 芸術文化観光専門職大学との連携によるスタートアップ支援

イ 但馬産業大賞による企業顕彰

2 但馬材素材生産強化・向上

854千円

資源循環型林業の推進に向けて、但馬地域の林業を担う人材の確保と育成、現場作業の負担軽減に取り組むとともに、販路の確保による但馬産木材の利用拡大を促進する。

(1) ⑧資源循環型林業を担う人材の確保・育成

ア 出前講座の実施及び移住・就労相談会への出展

イ 高性能林業機械等が活躍する林業の現場を見学できるバスツアーの実施

(2) ⑧但馬型再造林モデルの実証

ア シカによる食害対策として、獣害忌避装置の再造林地への導入可能性を検討

イ ドローン活用による現場作業員の負担軽減や低コスト化を検討

(3) 但馬産原木の海外輸出の促進

商社等流通関係者との情報交換会の開催

3 地域ぐるみの新規就農者の確保

800千円

但馬地域外からの新規就農者を確保するため、但馬の魅力を直に感じるバスツアーを実施するとともに、但馬での就農の魅力を伝える情報発信コンテンツの充実や、新規就農希望者を但馬地域へ呼び込むイベントを開催する。

4 新規参入者による但馬牛がいるむらづくり支援 300千円

集落機能の維持を支援する集落の具体的な受入れ条件を確認するとともに、先進地調査等を行い課題や条件設定の明確化を図り、イメージパースの作成により地域住民等の理解促進に努める。併せて、繁殖農家の新規参入者等への聞き取り調査を実施する。

5 沖合漁業船員の育成および定着促進 9,525千円

沖合漁業に就労を希望する新規就業者を広く募集し、その育成と定着を促進するため、定着率をあげる活動を支援する。

- (1) ⑧就職説明会への出展、漁船での作業内容などへの理解を深める資料の作成
- (2) 未経験者に対する現場研修の実施

「但馬暮らし」の推進

但馬の魅力ある企業を情報発信するとともに、移住希望者に直接「但馬の暮らし」、「但馬の仕事」を体験してもらうことで但馬を肌で感じてもらい、定住人口の増加につなげる。

1 但馬U・Iターン400人大作戦の展開

9, 754千円

きめ細かい移住相談対応と移住者受け入れ体制の強化、さらに若年世代への働きかけにより移住・定住を促進し、但馬地域へのU・Iターン者数年間400人を目指す。

(1) 移住相談窓口の設置・運営

ア 移住相談員による親身になった相談の実施

イ 移住に役立つ但馬の情報を効果的に発信

(2) たじま移住体験オーダーメイドツアー等の実施

ア 移住希望者の要望に対応する移住体験ツアーを実施

イ 先輩移住者や地元企業(職場体験)の案内など、住まいや仕事探しをワンストップで支援

(3) 移住者受け入れ体制の強化

ア 移住者同士のネットワークづくりを支援し、移住後のフォローアップを強化

イ 先輩移住者紹介マップを公開

(4) 若者のUターン促進

ア 若者が企画し交流するコミュニケーションメディアを運営

イ 市町と連携し、若者を対象としたイベントを開催

(5) 住まいの確保事業(空き家相談会の実施)

2 「但馬で働こう大作戦」の推進

2, 177千円

地元高校生や出身大学生に向けた企業情報発信や、但馬地域唯一の4年制大学である芸術文化観光専門職大学生への地元企業説明会の開催、県関係部局と連携したUIターン就労支援を実施し、多様な人材の雇用拡大を図る。

(1) 高校生に向けての情報発信

但馬の企業の若手従業員が地元企業・地元就職を決めた理由などを掲載した但馬企業紹介ホームページ「たじまが好き。」を但馬地域の高校のキャリア教育等で活用し、若年層の地元企業認知度向上と地元就職を推進

(2) ⑩大学生に向けての情報発信

ア ⑩芸術文化観光専門職大学と連携した但馬企業説明会の開催

イ 市町や高校と連携した大学3回生等への企業情報等の発信

【行ってみたい・活気に満ちた但馬の構築】

～観光・交流の強化～

新たなツーリズムの戦略的推進

万博を見据えて但馬の恵まれた自然を活かしたツーリズムや多様化する旅行者のニーズをつかむ新たな観光資源を幅広く発掘、発信、各種プロモーションを実施することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。

1 但馬の多彩な観光資源の再構築

22,890千円

旅行者ニーズの多様化に対応する土壌を育み発展させ、新しい観光ニーズの掘り起こしを行い但馬地域の観光消費額を増加させる。

(1) テーマ性をもったツーリズムの構築推進

但馬の潜在的な観光資源の掘り起こしを行い、着地型体験コンテンツの充実やそれに関わる人材の育成などを中心に支援し、但馬地域で新しいツーリズムの浸透を促進

(2) 但馬ツーリズム情報の積極的発信

兵庫DCの効果を万博に向けて継続させることを軸に、ひょうごフィールドパビリオンなどを意識した観光コンテンツの国内外への広報・周知事業を強化し、「観光地但馬」の露出度の向上を推進

(3) サイクルツーリズムの推進

但馬地域の豊かで魅力的な自然を最大限に活かす一つの形としてサイクルツーリズムを推進し、イベント開催を契機とした交流人口の拡大を図り、地域経済活性化と活力の向上を推進

(4) 二次交通の充実・利用促進に向けた支援

ア 夢但馬周遊バス「たじまわる」の継続運行

アフターDC期間を中心とした特別企画と利用促進対策を実施

イ アフターDC・ひょうごFPを見据えた地域内周遊の促進

観光客の二次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ二次交通の充実を推進

(5) ㊸インバウンド誘客対策

ア 「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2024」 への出展

国内最大級のインバウンド向け商談会に管内 5 市町と協働して出展し、海外バイヤーとの商談及び但馬地域の観光情報を発信

イ ㊸インバウンド対応多言語化支援

万博を契機に外国人観光客の大幅な増加が見込まれる但馬の観光地に対し、外国人向けの案内体制の確立を推し進めるため、翻訳機器導入等に係る経費を支援

2 **新** ひょうごフィールドパビリオン地域内連携の強化と情報発信事業

3, 000千円

ひょうご FP への取組を契機としてより多くの方を但馬に誘客し、観光 GDP の上昇や公共交通機関の利用促進を図り、地域の持続可能性を高めるため、各 FP の地域内連携の強化や磨き上げ、情報発信を行う。

(1) 芸術文化専門職大学と連携した事業

ア 観光客の行動調査

観光情報や交通情報を提供するアプリを活用し、行動調査を行うとともに、実効性のあるモデルコースのあぶり出しや、弱みに対する施策提言を実施

イ 学生モニターツアー

FP を体験した学生の意見をフィードバックするとともに、SNS 等で情報を発信

ウ モデルコース作成

学生モニターツアー等の結果を基に、FP や既存観光資源の連携を生かしたモデルコースを作成

(2) パンフレット作成

但馬全域の FP やモデルコース、公共交通機関情報を発信

3 都市農村交流人口の拡大推進事業

4, 500千円

多様な農林水産品や地場産品等の但馬ブランド、ツーリズムを推進するため、但馬まるごと感動市実行委員会事務局が実施する都市農村交流イベントに支援し、但馬内外との交流・連携を推進する。

地域資源の活用

日本遺産の認定を受けている鉱石の道やユネスコ世界ジオパークに認定されている山陰海岸ジオパークなど地域の中で育まれてきた資源を活用し、但馬の魅力を醸成する。

1 「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進 3, 827千円

中瀬、明延、神子畑、生野の4鉱山の近代化遺産を点から線へつなぐ「鉱石の道」として、行政・各種団体・企業等との連携により、地域資源の活用と地域活性化を図る。

(1) 効果的なプロモーションの推進

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」エリア内の来訪者に対して、日本遺産のストーリー全体の魅力や構成文化財の位置付けなどを伝えるため、道の駅「銀の馬車道・神河」に広報ブースを設置し、再訪や構成文化財等の周遊を促進

(2) 「鉱石の道」稼ぐ仕組みの創出

地域団体や事業者等が鉱山遺産以外の付加価値となる食や宿泊、体験等の魅力を掘り起こし、「稼ぐ仕組み」を創出する取組に対して支援

(3) 行政、企業等との連携による地域活性化の推進

2 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進 13, 270千円

3府県にまたがる山陰海岸国立公園を中心としたエリアの活性化と産業振興、保護保全、教育など各分野にわたるジオパーク活動を継続的に実施し、ジオパークエリアの活性化と持続可能な地域社会の形成を推進する。

(1) 山陰海岸ジオパーク推進協議会への支援

ア 産業振興・ツーリズム

イ 保護保全活動の推進

ウ 教育・調査研究

エ 情報収集・発信

(2) 万博推進に向けた山陰海岸ジオパークの受入環境強化

2025年に開催される大阪・関西万博に向けて、ジオカヌーなど、ジオパークに関連したフィールドパビリオンや、大地の成り立ちなどを感じられるジオサイトを訪れる観光客等の受入環境を充実させるため看板等を設置し、魅力を国内外に発信

地域外からのアクセス利便性の向上

基幹道路ネットワークの整備を推進し、地域外からのアクセス利便性を向上させるとともに、鉄道の利用促進に取り組み、地域の足の維持、交流人口の増加を図る。

1 但馬地域鉄道利用の促進

540千円

重要な社会インフラである鉄道を維持するため、沿線住民等の鉄道利用を促進するとともに、地域資源の掘り起こし・活用により鉄道を利用した来訪者の増加を図る。

- (1) アクションプログラムの着実な推進
2次交通アクセスの充実（駅前レンタサイクル補助）
- (2) 但馬地域における鉄道の魅力発信による利用促進
「車両基地見学会」の実施

2 基幹道路ネットワークの整備（土木部）

「基幹道路八連携軸」を構成する北近畿豊岡自動車道(国直轄事業)と山陰近畿自動車道(県事業)の整備を推進する。

- (1) 北近畿豊岡自動車道の整備促進
- (2) 山陰近畿自動車道の整備推進

【誇りたい・ふるさと但馬の再発見】
～シビックプライドの醸成～

魅力ある地域環境の再認識

但馬の豊かな自然が世界に誇れる素晴らしい資源であることを但馬の住民自身に再認識してもらい、シビックプライドの醸成につなげるとともに、将来にわたる環境保全を図る。

1 コウノトリも棲める郷づくりの推進 **1,078千円**

コウノトリ野生復帰推進計画の基本方針に基づき、野生復帰を推進する。

(1) コウノトリ野生復帰の環境整備

ア コウノトリ野生復帰推進連絡協議会の開催

イ ビオトープ等環境整備への支援

水田ビオトープや魚道等の環境整備、人工巣塔設置に係る経費の支援

(2) コウノトリ野生復帰PR事業の推進

ア 地域団体が行う野生復帰事業のYouTube発信

2 ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業 **1,859千円**

兵庫県下で唯一ラムサール条約登録湿地である円山川下流域の湿地・周辺水田で生物調査や保全活動などの環境学習を経験することにより、但馬の豊かで美しい自然環境を次世代に残していくための人材育成につなげる。

(1) 戸島湿地等の調査・保全活動

(2) 活動発表会の開催

3 新潟県との連携による情報発信と交流促進（再掲）

小学生対面学習等の支援、PRパンフレット等の作成

4 清流の郷づくり大作戦の推進 **120千円**

地域住民の井堰及び魚道等に対する理解を深め、地域全体で保全する体制づくりを目指し、各種イベントの開催を通じ魚道を含めた河川環境を守る重要性の意識高揚を図る。

(1) 魚道づくり体験、放流会等の実施

(2) 「水辺の小わざ検討会」の開催

(3) 各河川の保全協議会（仮称）の設立・運営支援

5 **新** 豊岡復興建築群の魅力発信

650千円

2025年に北但大震災から100年を迎えることを契機とし、復興により建築され現存している建築物の魅力を再確認し、地域活性化や防災意識の向上に繋げる。

(1) 歴史的価値の普及啓発

ア 豊岡復興建築群の情報発信

イ 中学校や高等学校での出前講座の実施

(2) 復興建築を活用した地域活性化

デジタルマップを活用したスタンプラリーの開催

暮らしの質を高める地域づくり

住民自らが主体的に取り組む地域づくりを支援し、但馬の暮らしの質をより高めることにより、但馬の住民が住み続けたいくなるような地域づくりを推進する。

1 専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進 10,845千円

芸術文化観光専門職大学等と連携して事業を行い、芸術の魅力あふれる地域づくりを推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

- (1) 管内市町等が実施する芸術文化振興事業への支援
市町等が実施する芸術文化振興事業への経費の支援
※地域団体等が実施する事業は地域活動応援事業により支援する
- (2) 芸術文化施設・イベント情報発信事業

2 但馬での学生グループ地域づくり活動の支援 758千円

大学生や但馬地域で地域活動実績のある大学卒業生等における継続的な活動や、自分たちの地域に愛着を持ち、地域貢献する意欲を有する高校生の活動を支援する。

- (1) 大学生及びOB等のグループ活動支援
大学生や但馬で地域活動実績のある大学卒業生の社会人等で構成するグループが行う、暮らしの中の課題解決やにぎわいづくりなどの活動に対して支援
- (2) 高校生グループ活動支援
但馬の高校生グループが地域づくりに取り組む集落等と連携した活動に対して支援

3 地域活動応援事業の推進 7,141千円

但馬地域ビジョン 2050 がめざす未来の姿の実現に向け、地域の活性化や課題解決に取り組む団体の活動を支援する。

4 但馬地域ビジョン 2050 の推進 3,598千円

県民主役のビジョンを実現するため、30年後の次世代を担う若者に向けて普及啓発を行い、地域の未来について考える場づくりを展開する。

- (1) 但馬地域ビジョン 2050 の普及啓発
 - ア 出前講座の実施
 - イ ホームページによる情報発信・PR
 - ウ 広報推進員の設置
- (2) たじま交流フェスタの開催
地域の未来を考え話し合う、たじま交流フェスタの開催

5 地域の見守り力アップ作戦 **400千円**

次世代を担う但馬の青少年を地域で守り、育て、温かく見守るという意識を醸成するとともに、警察や学校、地域団体等と連携し、青少年の非行化防止や健全育成に取り組む。

- (1) 但馬の青少年を見守る「ひと声運動」の実施
- (2) 青少年非行に対する地域の危機意識醸成のためのキャンペーン実施
- (3) 適切なインターネット利用への啓発活動

6 但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援 **1,705千円**

豊かな自然に恵まれた但馬地域で暮らす人々の安全安心な生活環境を守るため、環境保全活動等への支援と、失われつつある自然環境の再生と啓発に係る事業を実施する。

- (1) 環境保全等の活動への支援
- (2) 自然環境再生・啓発事業
- (3) 環境フェスティバルの開催

7 新 「たじま福祉交流・連携エリア」事業検討 **402千円**

発展的統合整備を行う特別支援学校の周辺を「たじま福祉交流・連携エリア」と称し、多様な福祉連携を展開するため、その方策について検討する。

8 地域医療構想の実現と推進 **111千円**

但馬圏域の効率的かつ質の高い医療提供体制を確保するため、病院間連携のための協議、医療機関による自主的取組を支援する。

- (1) 但馬圏域健康福祉推進協議会医療部会（地域医療構想調整会議）の開催
- (2) 但馬圏域医療機関等連絡会議の開催

9 新 社会的処方及び重層的支援体制の整備による地域共生社会の推進 **750千円**

誰もがつながりや生きがいを持てる地域共生社会の実現を目指すため、市町の任意事業である重層的支援体制整備事業についての理解を深める。また、社会的処方の考え方を学ぶ機会を作り、医療機関等への働きかけを行う。

- (1) 市町の重層的支援体制整備の実施の推進
- (2) 医療機関等への働きかけ
- (3) 地域資源開発をする社会福祉協議会、福祉事業者向けへのアプローチ
- (4) 社会的処方を実施するケースワーカーへのアプローチ

イメージアップ推進

住民自らが環境美化保全活動に取り組み、将来にわたって安心安全を実感できるような地域をめざすとともに、但馬の主要産業である農畜水産業のイメージを高めるなど但馬のイメージアップに努める。

1 地域ぐるみの新規就農者の確保(再掲)

但馬の魅力を直に感じるバスツアーを実施

2 クリーン但馬 10 万人大作戦の推進

509千円

但馬地域の環境美化の推進を目的とし、地域団体、住民等が一体となり、不法投棄防止活動の充実を図り、環境美化県民運動を展開する。

- (1) 地域住民と一体となった不法投棄防止対策の推進
- (2) 海岸漂着ごみ対策の推進

3 安全安心で住みよい但馬の農村(むら)づくり

50千円

耕作放棄地の増加による地すべりの誘発が懸念されており、地すべり防止にはハード・ソフト対策に加え、適切な農地管理（農作業）が非常に重要である。農作業の手助けを行う棚田保全会員（個人、企業等）を募り、登録・派遣する仕組みづくりを支援する。

(1) 棚田保全活動会員の募集

農作業の手助けを継続的に行う個人・企業等の棚田保全活動会員（棚田ボランティア）の募集

(2) 保全活動の実施・広報

ボランティア参加型の保全活動の効果的实施や新たな会員の募集に向け、地元高校とも連携しながら、啓発用のPR動画等を作成

4 地域防災力の充実・強化

300千円

但馬地域での災害への知識を深めるため、防災関係者や災害対応職員等への最新の情報を提供し、地域防災力の充実・強化を目指す。

(1) 防災関連講演の実施